

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
四日市市	羽津・富田地区	令和4年3月15日	

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	122ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	93.9ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	26.3ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	4.4ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	15.2ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	—
(備考)	

### 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の高齢化が進み、後継者が少なくなっているため、施設の維持管理、出合作業等が負担になってきている。</li> <li>・排水が悪く作付けができない土地、区画が小さく耕作がしにくい土地がある。</li> <li>・地区外からの耕作者が請け負っている農地については、耕作者の高齢化等により耕作規模が縮小していく状況にある</li> <li>・地区内での共同作業に出ない、農地を売却(処分)したい者が多くなる傾向がある。</li> </ul>
--

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区内の農地利用は中心経営体の森日光有限会社に集積していく。
中心経営体の作業効率が良くなるように、農地所有者の協力を得ながら集約を進めていく。

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<b>地区の営農方針</b> 当プランをもとに、地区での話し合いを継続的に実施する。
<b>農地中間管理機構等の活用方針</b> 農地の受け手、出し手ともに中間管理機構等を活用して集積を行っていく。また、離農する農家から、中心経営体の森日光有限会社に継承されるように、地域内の合意形成を図っていく。
<b>基盤整備への取組方針について</b> 生産効率の向上や農地集積、集約化を図るため、畦畔除去等により区画を拡大、整理していく。また、水路整備工事等の実施により、耕作条件の改善に取り組んでいく。